

研究課題名 「 COVID-19 パンデミックが気管支鏡検査に与える影響」に関する情報公開

1 . 研究の対象

2020 年 1 月から 10 月までの間、当院で気管支鏡検査を受けられた方

2 . 研究目的・方法・研究期間

気管支鏡検査は肺がん等の診断において重要な検査です。COVID-19 パンデミックにより、気管支鏡検査時に医療者は個人用防護具の装着、患者さんについては飛沫を直接医療者が浴びることがない様、アクリルシールドや、ビニールなどで飛沫防止対策を行っていますが、これらが医療者や患者に与える影響はわかりません。今回、これらの行為が実臨床において気管支鏡検査時間や、検査手技、患者さんへの影響があるかどうかを調べることを目的としています。研究期間は、実施承認日から 2022 年 3 月 31 日までです。

3 . 研究に用いる試料・情報の種類

情報: パンデミック前の検査体制と、それ以降パンデミック後個人用防護具等の対応を開始してからの検査体制において、気管支鏡検査時間や、検査手技の選択への影響、患者の血圧や酸素飽和度等への影響や、鎮静薬投与量などの影響を診療録を元に比較します。

4 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学講座 長谷 哲成

電話 052-744-2167 Fax 052-744-2176

研究責任者:

名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学講座 長谷 哲成

電話 052-744-2167 Fax 052-744-2176